

塑性加工の頂点を究める
(個別・商談会等取引あっせん事業)
株式会社 ウチダ

事業概要

当社は、昭和30年に電気部品のプレス加工を主とする(有)内田製作所として神奈川県川崎市で創業し、昭和35年から現在の主力製品である自動車用プレス部品の生産を開始。宮城県には昭和48年に丸森工場(※後に仙台工場第二に統合)、昭和56年に仙台工場(岩沼市)を新設し、着実に業容を拡大してきました。東日本大震災では、仙台工場、仙台工場第二が被災し、全ての設備が浸水する被害を受けましたが、“自動車産業のサプライチェーンを守る”という強い信念で3月末には生産を再開しました。その後の生産体制の再構築にあたっては、グループ補助金及び被災中小企業施設・設備整備支援事業を活用し、工場・設備を復旧。現在は修復した仙台工場と、高台に新設した仙台名取工場(愛島台)の2拠点で生産を行っています。

当社の強みは、自動車部品、産業用機械部品等の様々な分野で数千種類にも及ぶ部品をつくり続けてきたことで培われた高い技術力です。中でも、当社のイチ押しの技術である「オールプレス化」は、従来、複数工程(例：鍛造+切削加工)で作られていた部品をプレス加工のみで最終形状まで仕上げるもので、製造コストの削減・納期短縮に大きく寄与するものです。

毎年、愛知県で開催される「新技術・新工法展示会(自動車産業参入支援)」においても多くの来場者が当社の技術に関心を示すなど、今後、様々な自動車部品に当社の技術が採用されていく大きな可能性を秘めています。また、取引先のニーズに応えるべく、塑性加工シミュレーションの導入による金型設計最適化、設計時間短縮、トライ回数削減等、常に生産技術のレベルアップにつとめており、機構の専門家派遣事業を活用しながら生産改善にも日々取り組んでいます。取引先の開拓においては、個別・商談会等取引あっせん事業を積極的に活用しており、宮城県の自動車産業を支える企業として更なる飛躍が期待されます。

企業の声

みやぎ産業振興機構が開催する商談会には積極的に参加し、新規取引先の開拓に努めています。また、生産改善の専門家を派遣していただき、業務効率化に役立っています。

今後も機構のメニューを有効に活用し、成長を続けていきたいと思えます。

企業概要

代表者 : 代表取締役社長 佐々木 泰孝
 住所 : 岩沼市下野郷字中野馬場 1-1
 電話 : 0223-24-1234
 E-mail : uchida_s@po.sphere.ne.jp
 URL : http://www.uchida-sendai.co.jp/
 従業員 : 100名
 業種 : 金属製品製造業
 主要製品 : プレス加工、冷間鍛造加工、金型・治具設計製作
 認証取得 : ISO9001 ISO14001



〔震災後 高台に新設した仙台名取工場〕

従来	新技術・新工法
<p>2ピースロウ付け部品の問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 材料費が高い(黄銅) ● 部品が多い(2部品) 	<p>絞り+板鍛造で一体成形が可能に!</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 最新CAE技術でプレス工程最適化
<p>プレス品</p> <p>ロウ付け</p> <p>黄銅</p>	<p>ネジ以外は一体成形 SUS430</p> <p>六角成形</p> <p>ネジ加工</p> <p>ネジ切り可能な板厚を確保</p> <p>t=1.8mm t=1.6mm t=2.1mm</p>
<p>〔平成27年度新技術・新工法展示会の出展内容〕</p>	

個別・商談会等取引あっせん事業は、新たな取引拡大に向けた「個別」や「商談会」方式での取引マッチング支援をする事業です。